

## 若手層のリーダーシップ開発

グローバルHRD  
フォーラム20172017  
10/11 13:30~16:30  
wed (13:00開場)

## 海外での“修羅場経験”

若き経営リーダーを  
どのようにして輩出していくのか

ウィル・シードでは、企業の人事・人材開発責任者の方々と共に、企業のグローバル化と人事・人材開発を考える勉強会「グローバルHRDイニシアティブ」を運営しています。その中で頻繁にあがるテーマは「グローバルの競合と伍していくためには、40代のリーダーが不可欠だ」ということ。グローバル企業のリーダーは若い頃から海外で責任ある立場で仕事をし、経営リーダーとしての手腕を磨いていることを念頭においた課題意識です。

昨今、日本でも若き次世代リーダーの創出を見据えて、若手層の選抜育成に力を入れる企業がはじまっています。本フォーラムでは、若年層からのリーダーシップ開発について、海外リーダーの事例、そして日本のリーディング企業の事例に学ぶ機会をご提供いたします。

参加無料

|    |   |
|----|---|
| 日時 | 2017年 10月11日(水)<br>13:30-16:30(13:00開場) |
| 会場 | グランパーク カンファレンス<br>301大会議室(JR田町駅徒歩5分)    |
| 定員 | 100名                                    |
| 対象 | 経営企画部門・国際事業部門・<br>人事部門の責任者及びご担当者        |

基調講演

セッション①

企業先進事例

セッション②

未来のリーダーに  
必要な社外での挑戦

- 今、世界の経営者に求められることは?
- イノベーションを生み出すために必要な“垣根を超える経験”
- 海外・社外というダイバーシティ環境の有用性

早稲田大学大学院 早稲田大学ビジネススクール  
入山 章栄 准教授

慶應義塾大学経済学部卒業、同大学院経済学研究科修士課程修了。三菱総合研究所で、主に自動車メーカー・国内外政府機関への調査・コンサルティング業務に従事した後、2008年に米ピッツバーグ大学経営大学院よりPh.D.を取得。同年より米ニューヨーク州立大学バッファロー校ビジネススクール助教授。2013年より現職。「Strategic Management Journal」「Journal of International Business Studies」など国際的な主要経営学術誌に論文を多数発表。著書「世界の経営学者はいま何を考えているのか」(英治出版)、「ビジネススクールでは学べない 世界最先端の経営学」(日経BP社)他

第一生命保険株式会社 様

グローバル人材になる  
ための20代の過ごし方

- 第一生命が考える“グローバル人材”
- グローバル人材を輩出するために若手に与える経験
- グローバル人材になるための海外経験とは?

グループ経営本部 兼 人事部人材開発室 部長  
原 由也 氏

日系大手精密機器メーカー、デジタルエンターテインメント企業にて広範な人材マネジメントを経験。イギリス、オランダ、ベトナムでの海外勤務経験も持つ。第一生命では、グローバル人材を中心に人材開発の企画と運営を統括している。

日本航空株式会社 様

「一歩先行く価値創造  
人材」の育成

- 「世界のJAL」に向けて必要なイノベーション
- 若手に海外経験を与える意義
- 海外×ベンチャー(自社ではない環境)に派遣する効果

人材本部付担当部長  
蘆野 健 氏

完全民営化後の1期生として1988年日本航空(株)に入社。成田空港勤務を皮切りに、予約・販売・企画など主に航空貨物部門で勤務した後、2006年より整備部門等で人事・総務業務に関わる。これまで2度の米国勤務を経験し、2017年6月より現職。

フォーラムへのお申込みはwebサイトよりお申し込みください

<http://www.willseed.co.jp/seminar/>

willseed セミナー

検索

